

## ジュニア指導における10か条

岩手県カーリング協会は、スポーツインテグリティを守る組織であることを宣言するとともに、特にジュニア（未成年）の指導において、スポーツインテグリティが意味する誠実性・健全性・高潔性を高める取り組みとして、ジュニア指導における10か条を定める。

この内容は適時改め、実効性のあるものとする。

1. ジュニア世代には、指導者の影響力が大きいことを理解し、適切な指導に努める。
2. 周囲への挨拶など、人間教育などの側面を含んでいることを理解した指導を行う。
3. ジュニア選手一人一人が個性のある人間であることを理解した指導を行う。
4. 選手が競技を楽しむとともに、自ら考えることを伸ばす指導を行う。
5. 教育的配慮が必要な未成年を指導するという自覚を持った行動を行う。
6. PATROL（※）を意識した指導を行う。
7. 大会や合宿等を引率する際は、保護者から子供を預かっているという意識を持ち、競技に関することだけでなく、生活面の指導も適切に行う。
8. 同様に大会や合宿等を引率する際は、法令等で未成年が行うことが禁じられている事項（例：飲酒や喫煙、競馬などのギャンブル等）については、未成年の目が届くところでは一切行わない。  
また、飲酒等の場に未成年を同席させることなどは避け誤解を生じることがないように行動をとる。
9. ハラスメントに該当するような指導は行わないことは当然として、指導を受ける選手が不快に感じればハラスメントに該当することを理解した指導を行う。  
（例：舌打ちや個人を名指し批判するなど選手自体が不快に感じること）  
選手との誤解が生じないように、指導や発言の意図を明確に示す。
10. 保護者とも誤解が生じないように、説明責任を果たし信頼関係を構築する。

※ 〈Process とは〉「結果より過程を重視する」こと。

〈Acknowledgment とは〉「承認する」こと。

〈Together とは〉「一緒に楽しみ、考える」こと。

〈Respect とは〉「尊敬、尊重する」こと。

〈Observation とは〉「よく観察する」こと。

〈Listening とは〉「話をよく聞く」こと。